

第2章

里庄町の都市特性



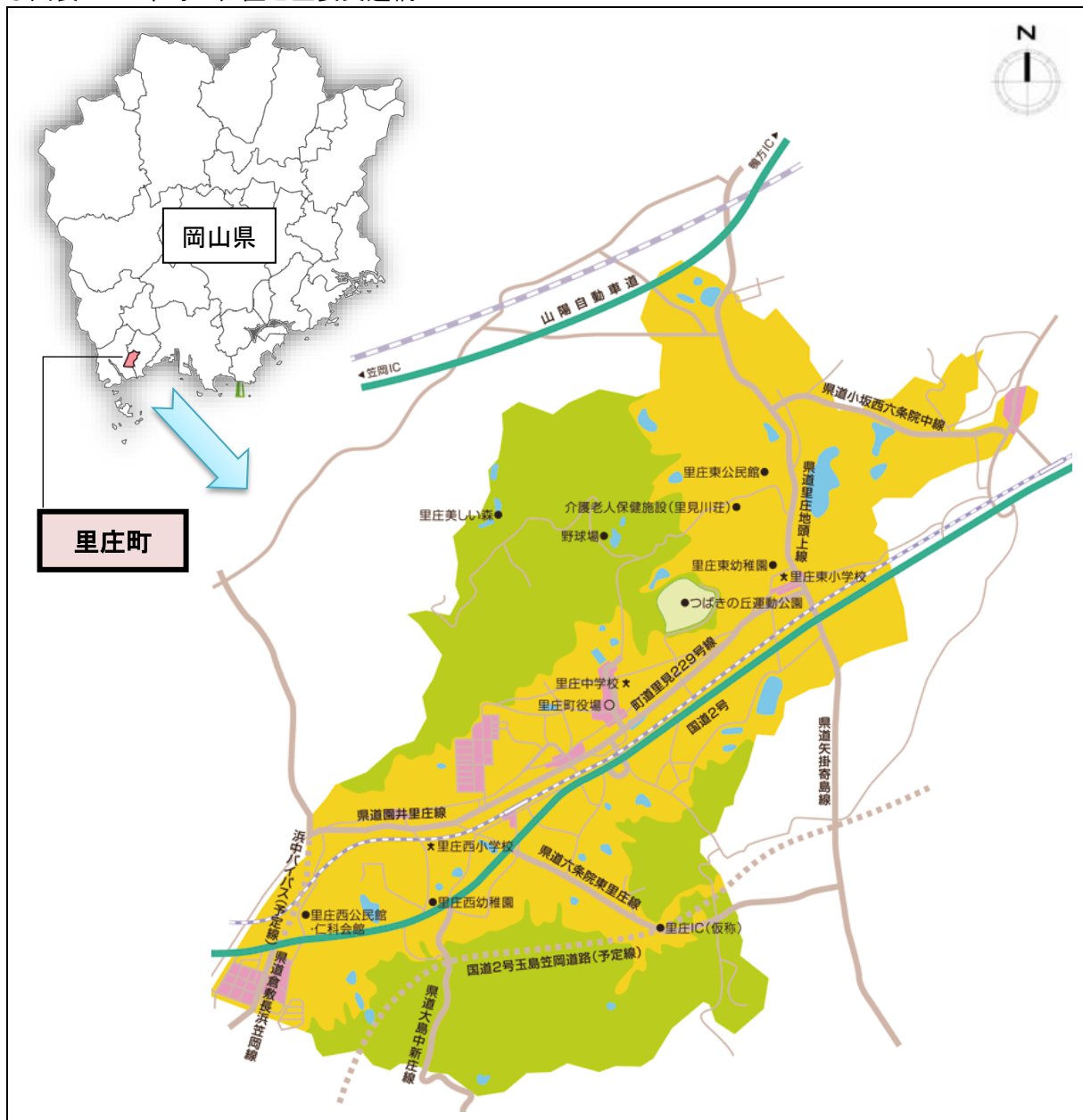
第1節 里庄町の位置と歴史

本町は、岡山県の西南部に位置しており、東は浅口市、西は笠岡市に接し、12.23 km²の町域を有しています。地形は、北部に虚空蔵山、南部に毛野無羅山があり、これらの山地の間に、東西に広がる低地が展開しています。

岡山市からは直線距離で約 35km、倉敷市からは約 20km、広島県福山市から約 20km であり、町の中心には JR 山陽本線や国道2号が通り、山陽自動車道の鴨方・笠岡インターチェンジも近いなど、県内外からのアクセスも良好な立地です。

古来より、町中央部には東西方向に鴨方往来が通っており、鴨方から笠岡の港への重要なルートとして位置づけられていました。明治以降、新庄と浜中は新庄村となり、明治 38 年に里見村と合併して里庄村が誕生したのち、昭和 25 年に里庄町となり今に至ります。

●図表2-1 本町の位置と主要交通網



第2節 里庄町の主要指標



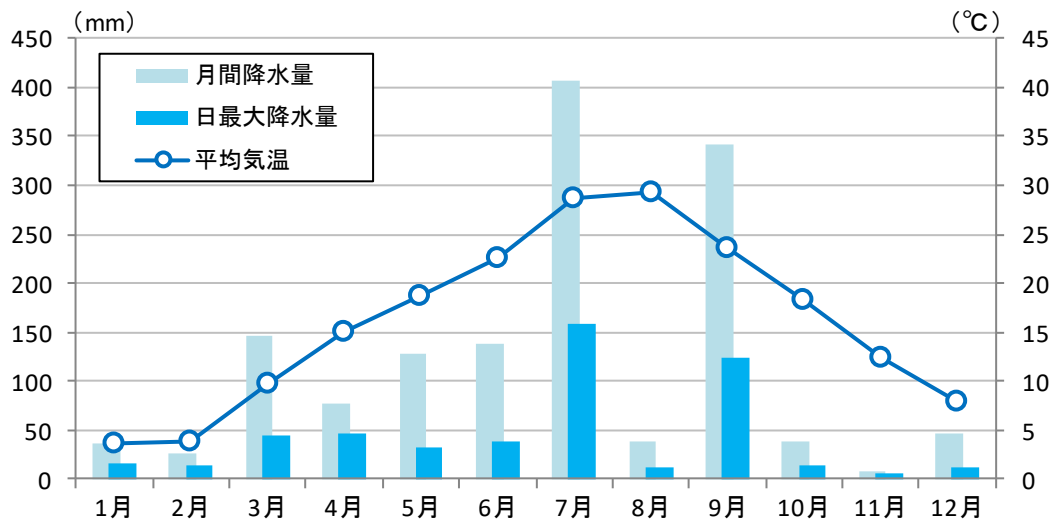
1 気候

本町周辺での年間平均気温は 16℃程度で、平成 30 年は月の平均気温が 3.6～29.2℃でした。最高気温は近年上昇していますが、一方で最低気温は低下する傾向にあり、夏冬の寒暖差が広がっています。

また、降水量は5年間の平均で年間 1,250mm 程度であり、山陰地方（鳥取県）の 1,700～1,800mm程度に比べ少なく、温暖小雨の典型的な瀬戸内海気候となっています。

●図表2-2 本町周辺に位置する気象官署（笠岡地域気象観測所）の降水量・気温

◆平成30年（2018年）の月別降水量及び月平均気温



◆過去5年の年間降水量及び気温

年次	気温 (°C)					降水量 (mm)	
	平均	平均日最高	最高気温	平均日最低	最低気温	総量	日最大
平成26年	15.4	20.2	36.1	11.0	-2.9	994.5	57.0
平成27年	15.8	20.6	36.3	11.5	-3.8	1183.0	44.5
平成28年	16.5	21.3	36.5	12.3	-6.2	1432.5	67.0
平成29年	15.6	20.5	36.8	11.2	-3.3	1274.5	10.1
平成30年	16.1	21.0	36.9	11.7	-6.4	1434.5	158.0
1月	3.6	8.4	13.7	-0.8	-0.8	37.5	17.0
2月	3.9	9.0	14.2	-0.9	-0.9	27.0	14.0
3月	9.7	15.4	22.9	3.8	3.8	146.0	44.0
4月	15.0	20.8	25.8	9.5	9.5	77.0	46.5
5月	18.8	23.5	28.3	14.0	14.0	129.0	33.0
6月	22.6	27.1	32.3	18.8	18.8	137.5	38.0
7月	28.7	32.9	36.4	24.9	24.9	407.5	158.0
8月	29.2	34.2	36.9	25.0	25.0	38.5	13.0
9月	23.5	27.0	33.1	20.5	20.5	341.5	123.0
10月	18.2	23.1	31.9	13.9	13.9	38.5	15.0
11月	12.4	18.2	22.7	7.6	7.6	7.5	5.5
12月	7.9	12.4	20.0	4.2	4.2	47.0	12.0

資料：気象庁HP

2 人口及び世帯

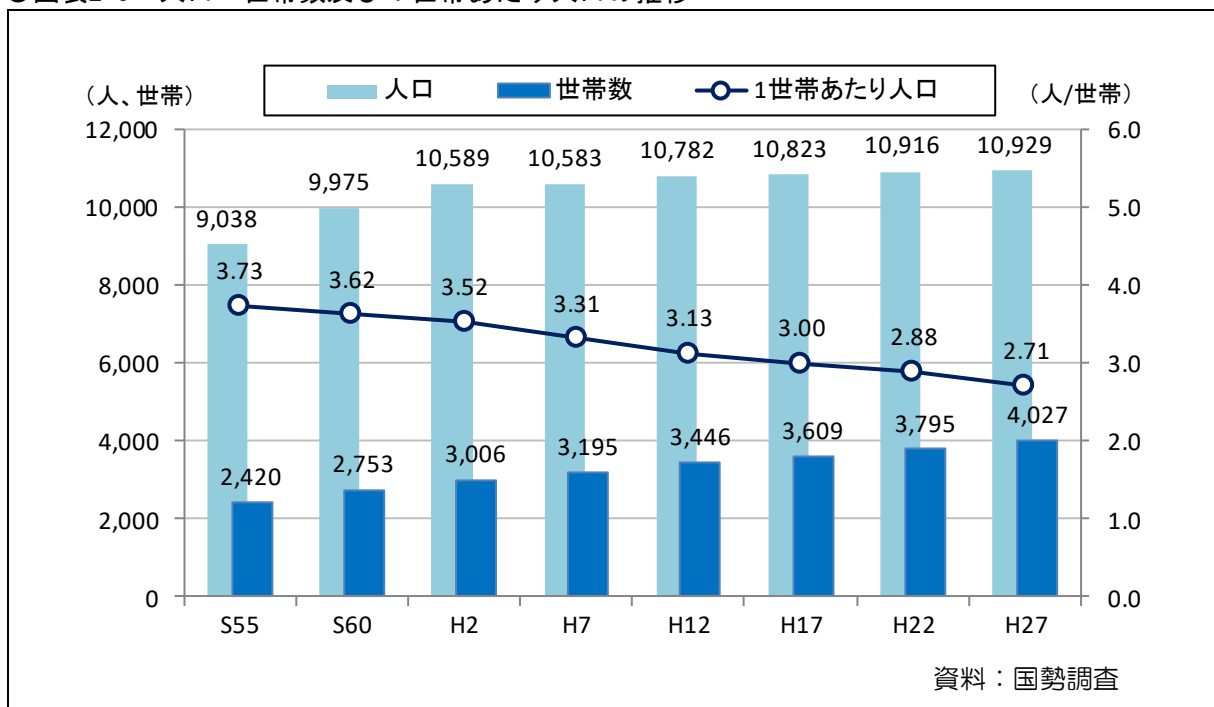
国勢調査によると、平成 27 年度における本町の人口は 10,929 人、世帯数は 4,027 世帯、1 世帯あたり人口は 2.71 人です。

本町の人口は、昭和 25 年の町制施行以来増加しており、昭和 45 年の 7,445 人から 20 年後の平成 2 年の 10,589 人にみられるように、昭和の後期には年間 150 人程度のペースで増加しました。しかし、その後、増加傾向は鈍化し、近年では概ね横ばいとなっています。一方、世帯数については増加傾向が続いており、1 世帯あたり人口は減少しています。

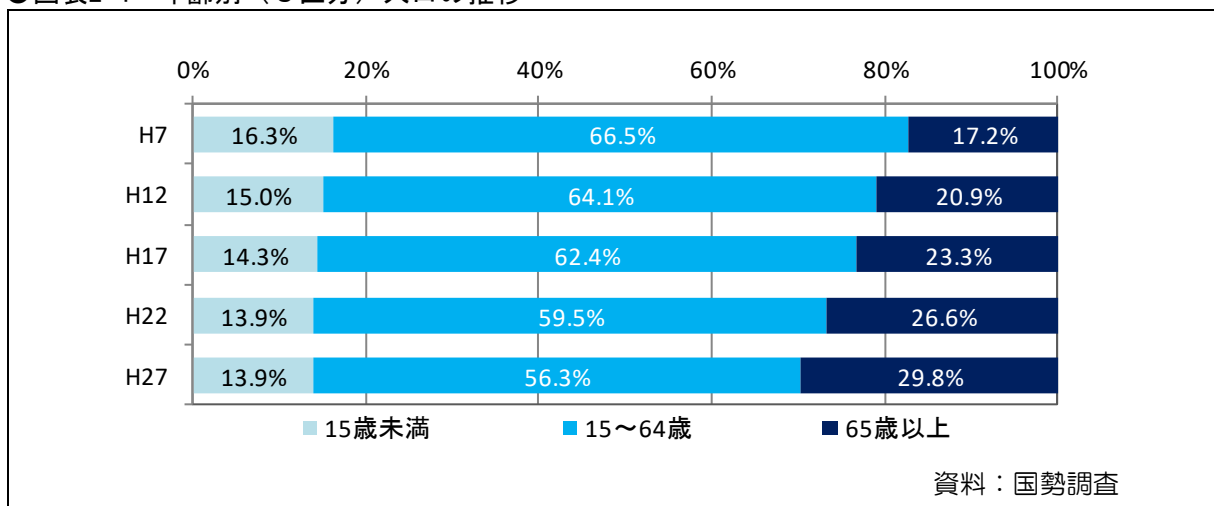
年齢別の人口では、15 歳未満人口の比率がほぼ一定で推移しているのに対し、65 歳以上人口の比率は年々増加しています。

これらのことから、本町では人口の減少は無いものの、核家族化の進行と一人暮らしの高齢者世帯の増加が進んでいます。

●図表2-3 人口・世帯数及び1世帯あたり人口の推移



●図表2-4 年齢別（3区分）人口の推移



3 産 業

本町の産業別就業者の割合を見ると、第3次産業が約 64%と最も多くを占め、次いで第2次産業が約 34%となっており、第1次産業は2%程度です。

第1次産業では農業が中心ですが、ほとんどの農家は水稲と露地野菜の栽培による自給的性格に近い兼業農家で占められています。

第2次産業は製造業が中心で、工作機械、電子部品、医薬品等が主な製造品目です。

第3次産業は、卸売・小売業が約 15%を占めており商業が中心となっていますが、町内には商店街は無く、またショッピングセンターの立地もないため、町内よりも町外での消費が多い状況にあります。

●図表2-5 産業別就業者数の割合（平成27年10月1日）

